情報公開文書

1. 研究の名称
   胃切除術後に行う食事指導変更前後の患者の栄養状態と QOL の比較検討

2. 倫理審査と許可
   京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院　医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名
   研究機関：京都大学医学部附属病院消化管外科
   研究責任者：京大病院医学部附属　副看護師長清水典子

4. 研究の目的・意義
   胃癌術後の食事指導内容変更前後の栄養状態と QOL の状態の比較検討することで指導内容の効果を評価します。それにより根拠に基づいた指導の継続、又はさらなる指導内容の改善を検討します。

5. 研究実施期間
   研究機関の長の許可日から 2028 年 3 月 31 日

6. 対象となる試料・情報の取得期間
   指導内容変更前：2022 年 3 月 28 日から 2027 年 9 月 30 日の間で「胃癌術後に低栄養陥る患者の実態調査」（京都大学医の倫理委員会承認番号：R3327）への研究に参加していただいた患者さんです。

7. 試料・情報の利用目的・利用方法
   アンケートを集計したものと、採血データや身体測定結果、身体状態やＱＯＬの状況を食事指導内容変更後のデータと比較します。結果を学会報告や、指導内容の改善に使用します。

8. 利用または提供する試料・情報の項目
   アンケート内容、年齢、性別、癌の進行度、手術日、術式、術後合併症の有無、採血データ、InBody 測定結果
9. 利用または提供を開始する予定日
   研究機関の長の実施許可日以降

10. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

研究責任者　京都大学医学部附属病院　副看護師長　清水典子

11. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される識別される試料・情報の利用またはほかの研究機関への提供を停止すること及びその方法

ご自身の試料･情報を研究に利用されたくない方は､連絡先までその旨お知らせ頂ければ､解析対象から削除します。

12. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲での研究に関する試料の入手・閲覧する方法

窓口にお問い合わせください。

13. 研究資金・利益相反

1) 研究資金の種類および提供者

研究に関する資金源として、京都大学医学部附属病院の看護部研究助成金を使用します。

2) 資金提供者との関係

資金提供者が研究の企画、運営、解析、論文執筆に関与することは一切ありません。

3) 利益相反

利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規定に従い、京都大学臨床研究相反審査委員会において適切に審査しています。

14. 研究対象者からの相談への対応

1) 研究課題ごとの相談窓口

京都大学医学部附属病院　積貞棟 6 階　合野由香

TEL:075-366-7590

2) 研究機関における相談等窓口

京都大学医学部附属病院　臨床研究相談窓口

TEL:075-751-4748

E-mail:ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

2026/5/14 ver4